

2024 年 10 月 6 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒355 番（旧 304 番）（SK 兄）

『主はいのちを』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 4 章 16~18 節（MM 姉，MY 姉）

『だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。

見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 5 章 5~8 節

『わたしたちを、このようになるのにふさわしい者としてくださったのは、神です。神は、その保証として“霊”を与えてくださったのです。それで、わたしたちはいつも心強いのですが、体を住みかとしているかぎり、主から離れていることも知っています。目に見えるものによらず、信仰によって歩んでいるからです。わたしたちは、心強い。そして、体を離れて、主のもとに住むことをむしろ望んでいます。』

礼拝讃美歌⇒297 番

『見ゆるところによらず』

聖書⇒詩編 31 編 6 節（NH 兄）

『まことの神、主よ、御手にわたしの霊をゆだねます。わたしを贖ってください。』

聖書⇒ルカによる福音書 23 章 44~46 節

『既に昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、それが三時まで続いた。太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。』

礼拝讃美歌⇒96 番（旧 150 番）

『家なき旅人』

< 祈 >

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 21 章 25 節 (SK 兄)

『イエスのなさったことは、このほかにも、まだたくさんある。わたしは思う。その一つ一つを書くならば、世界もその書かれた書物を収めきれないであろう。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11 章 23~26 節

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒401 番 (旧 286 番)

『主よいのちの御糧を』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 17 章 1~8 節 (SK 兄)

『六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。ペトロが口をはさんでイエスに言った。「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。弟子たちはこれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。イエスは近づき、彼らに手を触れて言われた。「起きなさい。恐れることはない。」彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにはだれもいなかった。』

聖書⇒マタイによる福音書 28 章 17 節

『そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。』

聖書⇒使徒言行録 2 章 13 節

『しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。』

聖書⇒使徒言行録 2 章 36~38、40~10 節

『だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか」と言った。すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

ペトロは、このほかにもいろいろ話をして、力強く証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と勧めていた。ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。』

聖書⇒ペトロの手紙二 1 章 17 節

『莊嚴な栄光の中から、「これはわたしの愛する子。わたしの心に適う者」というような声があつて、主イエスは父である神から誉れと栄光をお受けになりました。』

礼拝讃美歌⇒198 番 (SK 姉)

『イエスは来たもう』

《建徳要旨》